

年末年始の火災予防について

消防本部 予防課

☎ 965-2122

「消したかな」あなたを守る言葉

この時期になりますと空気が乾燥し、暖房器具や火気を使用する機会が増えることから、火災の発生が増加する恐れがあります。

また、年末年始は休日が多く、外出などで家が留守、事業所も無人になりがちです。

かけがえない生命と財産を守るためにも、お出かけ前やお休み前はおちろんのこと、火の元には十分注意し、火災のない年末年始をすごしましょう。

◆家庭及び地域における防火対策

この時期は、暖房器具をはじめとする火気の使用が多くなります。

火災は、ちょっとした火の不始末や不注意によって起きていますので、これらの器具類は正しく十分注意して取り扱しましょう。

また、家の周囲などを整理整頓し、地域ぐるみで放火されない環境を作りましょう。

◆不特定多数の者が出入りする防火対象物に係る防火安全の確保

この時期は、百貨店、旅館、飲食店等へ出入りする機会が多くなります。

これらの防火対象物は、ひとたび火災が発生すると多大な被害が予想されます。

消防設備の設置、保守点検、避難設備の管理等を徹底し、安全確保を図りましょう。

住宅防火のいのちを守る7つのポイント

― 3つの習慣・4つの対策 ―

★ 3つの習慣

- ① 寝たばこは、絶対やめる。
- ② ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ③ ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

★ 4つの対策

- ① 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器などを設置する。
- ② 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- ③ 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器などを設置する。
- ④ お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力的体制をつくる。

こんなことにも注意しましょう!!

- 家の周りに燃えやすいものを置かない。
- タバコの投げ捨てをしない。
- 電気コンセントのほごりを時々掃除

する。

● 暖房器具は点検してから使用する。

● ストープをつけたまま寝ない。

● ストープの上に洗濯物を干さない。

● 石油ストーブは火を消してから給油する。

● 野焼きなどは避けましょう。



すべての住宅に住宅用火災警報器を設置しましょう!